

さばかん つうしん

さんばんぜ かんきょうがくしゅうかん



ふなばし三番瀬環境学習館、
ふなばし三番瀬海浜公園から、
毎月情報やメッセージをたくさん
掲載している「さばかん通信」。
ぜひご利用ください。

こんげつ 今月のテーマ

あそ ヤドカリと遊ぼう

はる きおん あたた
春になり気温も暖かくなってきましたね。はる になると生きものたちの
うご かっぱつ
動きも活発になっていきます。干潟を観察していると色々な生きもの
うご こんかい なか しよしんしゃ み
のが動いているのがわかります。今回はその中で、初心者でも見つけ
やすい「ヤドカリ」に注目してみようと思います。

記事を書いた人 アテンダント 橋口



学習館に来る前は水族館で飼育員をしていました。最近には飼育員の経験を生かして観察コーナーの水槽管理などの担当をしています。現在は自宅でモルモットを飼育中。

さが ヤドカリを探すコツ

ヤドカリはカニやエビなどと同じ甲殻類の仲間、巻貝の貝殻に入って暮らしています。ヤドカリを見つけるコツは「静かに待つ」ことです。じーっと干潟を見つめて待っていると、巻貝の貝殻が動いているのが見えてきます。しかし、動いている貝殻が全部ヤドカリとは限りません。動きをよく見てみてください。比較的速く動いているものと、ゆっくり動いているものの2種類があります。この速く動き回っている方がヤド

カリです。ゆっくり動いている方は「アラムシロ」という名前の巻貝で、全く別の生きものです。ヤドカリを捕まえるときはアラムシロとお間違いないように!



よく見ると全然違う!



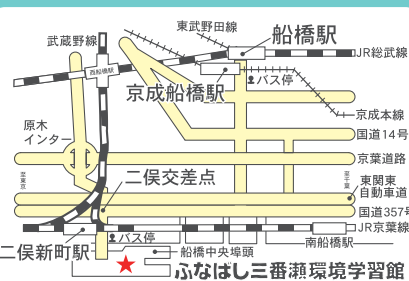
かんさつ 観察してみよう

ヤドカリを捕まえられたら透明なケースなどに入れてみましょう。最初は殻の中に入れてしまかなか出てきてくれませんが、ここでも焦らず静かに殻から出るのを待ってみましょう。しばらくするとゆっくりと顔を出してきてくれます。完全に殻から顔を出してくれたら観察するチャンス! 驚かせないようにそっと覗いて、左右のハサミに注目してみましょう。右側のハサミが大きくて足が少し長いヤドカリは「ユビナガホンヤドカリ」といい、三番瀬でよく見られるヤドカリです。三番瀬ではユビナガホンヤドカリの他にも様々なヤドカリがいます。もし捕まえたヤドカリの見分け方や生態を知りたい時は、学習館2階の観察コーナーへ来て気軽に質問してくださいね! (橋口)



かわいい顔だね!

ユビナガホンヤドカリ



ふなばし三番瀬環境学習館

【開館時間】9:00~17:00【休館日】原則月曜日、4/1・4/29は開館(詳細はホームページをご覧ください)【アクセス】電車・バス:JR船橋駅・京成船橋駅・JR二俣新町駅から京成バスシステム「船橋海浜公園」行終点下車/車:国道357号二俣交差点を「船橋中央ふ頭」方面へ(駐車料金普通車:500円)【お問い合わせ】〒273-0016 千葉県船橋市潮見町40 メール:pr@sambanze.jp 電話:047-435-7711 FAX:047-435-7712 公式ホームページ: https://www.sambanze.jp/



や ちょう 野鳥インフォメーション

トウネンは三番瀬では春と秋にみられるシギのなかまです。シギの中ではとても小さくズメほどの大きさしかありません。嘴と足は黒く、夏羽では顔や胸が赤くなります。(大口)



トウネン(夏羽)

干潟の微生物を食べる